

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2017.8.17 No.277

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>



## 歴史的な核兵器禁止条約を採択

# 核兵器全面廃絶の実現へ新たな一歩

広島・長崎に原爆が投下されてから72年目を迎えました。広島・長崎の原爆の日に先立ち、7月7日、核兵器を違法化する「核兵器禁止条約」が採択されました。核兵器全面廃絶の実現へ新たなステップとなります。

## 「核兵器のない世界」へ 画期的な条約を採択

これまで化学兵器や生物兵器など、大量に人々を殺戮し破壊する兵器は禁止されてきましたが、最も破壊力のある核兵器は禁止されてきませんでした。条約では、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵」「使用と使用の威嚇」「譲渡」支配地域内での「設置や配備」を含む全ての行為を禁止するもので、画期的な内容となっています。

条約は国連加盟国193カ国の3分の2にあたる122カ国の賛成（棄権1、反対1）で採択されました。

## 被爆者、平和を願う人々の運動の成果

条約の前文では「ヒバクシャ」や核実験被害者の「容認しがたい苦難と損害」が明記され「市民的良心」を担う「ヒバクシャ」の役割も強調されています。

核兵器禁止条約の実現は、被爆者の方々をはじめとした平和を願う多くの人々のためゆめ運動が実を結んだものです。



今年も原水爆禁止国民平和行進が取り組まれた。

## 杉並区内でも被爆者団体が活動

杉並区内の被爆者団体「光友会」の方々も核兵器廃絶に向け、様々な活動に取り組んでいます。被爆者が高齢化するなか、被爆体験の継承が急務となっています。



パネル展示や区内学校での出前授業にも取り組んでいます。

## 日本政府の姿勢が厳しく問われる

一方、日本政府は唯一の戦争被爆国の政府であるにも関わらず、核保有国に追従し、核兵器禁止条約に背を向けるという恥ずべき態度をとっています。今年の長崎原爆の日の平和宣言では、田上長崎市長が条約に加わらない日本政府に「唯一の戦争被爆国として、一日も早い参加を」と迫りましたが、安倍首相は条約参加への言及は一切しませんでした。被爆国としての立場を放棄するもので許されません。

日本共産党は、志位和夫委員長を団長として国連会議に参加し、被爆国日本の国民の声を届け、禁止条約実現を訴えました。

日本政府が従来立場を抜本的に見直し、核兵器禁止条約に参加することを強く求め、今後も全力を尽くす決意です。

2018・2019年度で使用

# 区立小学校で使用する道徳教科書を採択

## 採択教科書は東京書籍「新しい道徳」

8月9日（水）に開催された教育委員会で、来年度から区立小学校で使用する「特別の教科書 道徳」の教科書が採択されました。採択教科書は東京書籍「新しい道徳」となりました。

今回の教科書採択において、検定合格した道徳教科書は8社66点ありましたが、ところが、その中には多くの区民や全国の教育団体から、このまま採択され子どもたちの手に渡ることには強い懸念が示されているものがありました。

## 「国旗・国歌」偏重、戦前の「修身」を彷彿 教育の政治的中立を侵すとの指摘も：

特に教育出版社の教科書は、他社とは大きく異なる異様な内容・表現が含まれています。「国旗・国歌」が他社と比べても異常に大きく偏った取り上げ方をしています。「君が代」の歌詞の説明が「日本の平和が長く続くようにとの願いだ」と虚偽の説明をし、君が代斉唱時の起立・礼の行動まで写真入りで指示しています。

さらに、子どもたちの行為、行動を型にはめる規制・強制が至る所に強く出ています。「どれが正しいおじぎの仕方か」など、戦前の修身と同じようなおじぎをさせる「しつけ」「礼儀」の教材が多く取り入れられています。

その他、掲載する必然性の無い安倍首相の写真をあえて載せるなど、教育の政治的中立を侵す内容となっています。

## 道徳の教科化は憲法に逆行

民主主義社会の道徳は、個人の尊厳と人権を互いに尊重することを基礎に置くもので、上から「こうあるべき」等と押し付けられるものではありません。道徳教育の押し付けは、憲法の定める思想良心の自由を侵すことにはほかなりません。



5年生の教材「下町ボブスレー」では、「ポーズを決める安倍首しよう」として安倍首相の写真をあえて掲載。現役政治家の教科書掲載の制限を定める「義務教育諸学校教科用図書検定基準」にも明白に反する。

## 育メン日誌

まだかまだか、と待ちわびる日々

第三子の予定日（8月23日）が迫っていますが、このニュースを作っている時点（8月17日）では、まだ産まれていません。

おそらく、次週のニュースには「出産報告」を書いているとは思いますが、落ち着いた日々です。

いつ陣痛が来るか分からないため遠出も出来ず、今年の夏は家で過ごしています。



子どもたちも暇を持て余していますが、そんな時に、地域のお祭りには大変助けられています。ありがたや～（泣）。

そろそろ、3人目（多分、女の子）の名前を考えておかなければなりませんね。これが一番大変です（笑）。

## 各分野の陳情・要望を聴取 区内各団体と懇談会を実施中 陳情・要望は区政に届けます！

日本共産党杉並区議団は毎年、7・8月にかけて杉並区内の各団体との予算要望に関する懇談会を行なっています。

区内各団体や各分野から杉並区政への要望や問題点を聞き取り、次年度の日本共産党杉並区議団の予算要望に反映しています。



さらに、お寄せ頂いた陳情や要望は、今後の議会活動や党区議団の区政政策にも活かしています。

懇談にご協力頂ける場合は  
お気軽にご連絡ください  
090-9973-0941